

劔岳 山行報告

【山城】 北アルプス

【日時】 H29 5/3(夜)～5/6

【参加者】CL田中 SL澤田(淳) 狩野純一 時田明美 江橋健一 宮城奈々子

【山行タイム】

5/3(水) 船橋 22:30～中央道～安曇野～扇沢 2:15

5/4(木) 扇沢駅 6:30～トロリー・バス・ケーブルカー・トロリー8:10 室堂 8:50
～雷鳥沢キャンプ場 9:35～劔御前小舎 11:35

5/5(金) 小舎 5:20～平蔵谷出会い 6:20～平蔵谷コル 9:20～山頂 10:35～11:00
カニの横パイ～ 一服劔 14:00～劔沢キャンプ場 15:00～小舎 16:00

5/6(土) 小舎 6:50～雷鳥沢キャンプ場 8:00～室堂 9:10～扇沢 11:20

【山行記録】

5/3 CLの体調不良により中止も囁かれた今回の山行は、出発日の遅延・日程の短縮・CLの勇気によって遂行されました。

中央道に渋滞はなく、さっくり扇沢へ到着すると満点の星空！ニンマリ。

駅近くの無料㊤は満車で、少し遠い㊤に駐車してささやか宴会&短い仮眠を取ったら、あっという間に起床時間になりました。

5/4 6時前に切符売場へ行くと、すでに鈴なりの人、人、人・・・。

乗場と二手に分かれて並び、何とか始発のトロリーへ乗ってケーブルカー、ロープウェイ、トロリーを乗り継いで室堂へ。

玉殿の湧水は雪に埋もれていて汲めません。

アイゼン・スパッツ装着OK いざ出陣！



**室堂から雷鳥沢キャンプ場(GWTイレ使用OK)へ150m下る幕開けから、
2750mの小屋までの標高差は約450m。**

**3時間の行程だからと敢えて荷を重くしちゃった、ご乱心の己を呪いながら
赤旗に沿って急登を黙々と進みます。**

**途中、Kさんが笑顔で10m程 滑落した以外のイベントは無く(あ、雷鳥の
撮影会には遭遇したね。)長く感じた初日でしたが、全員コースタイム内で
小屋へ到着しました。**

**5/5 昨日に続き急な下りから始まる本日は、小屋⇒剣沢⇒平蔵谷出合
いまで落差650m。帰り道を想像すると、歩きながら軽く失神できます。**

出合いでは、数日前に源次郎尾根で起きた雪崩を思い起こさせるデブリが数多く見られ、気が引き締まりました。もちろん全員、ビーコンを装着済みです。そして、平蔵谷 本番。

交代でラッセルしながらクレバスを避けて慎重に登りますが、一直線はやっぱり急登。息があがります。

平蔵のコルからは右から雪上伝いにカニの縦パイの上へ出て、別山尾根伝いに雪道を辿って行くと・・・山頂です！



タイミング良くガスが晴れて、360度の絶景でした。復路は時間と安全性を考慮しCL判断により、平蔵谷ピストン⇒別山尾根ルート下降に変更。

カニの横パイを経て垂直ハシゴを降りた我々の前に、グズグズの残雪が立ちはだかります。

前劔の雪壁下りではロープを出して、CLのピレイで1人ずつ降りますが50m×4ピッチの間に太ももが瀕死の状態に。

一服劔も乗り切って、くろゆりのコル辺りから屋根だけ見える劔山荘を横目に劔沢キャンプ場までトラバースすると、約11時間の長い一日の締め括りには、死者にムチ打つ如く、小屋までの登りが待っていました。

5/6 二日連続で雷鳥と出会った為か、最終日は激しい風と雨です。

小屋を出ると下山道を見失うレベルのホワイトアウトで、Tちゃん、Eさん、はCLとロープで繋がり、残りの3人も離れない様に赤旗を目印に下ります。

キャンプ場の手前では、本日も可愛い雷鳥カップルに遭遇。

癒されたのも束の間、暴風雨に加えて昨夜から発症している筋肉痛が脚力を著しく削いで、思った以上に室堂までの登りがキツく感じます。

ずぶ濡れで到着した室堂ターミナルからは、臨時便が運行されており乗継良く扇沢へ戻れた一行は、昼前には大町温泉郷「薬師の湯」にて冷え切った身体を温めることが出来たのでした。

今回は、自分の体力持久力不足を痛感させられた山行でした。

CL(病み上り、本当にお疲れ様でした)を始め、優しい皆さまと一緒にだから

最後まで頑張れました。本当にありがとうございました。

体力的にはキツくとも、とってもとっても楽しいGWでした。（記録 宮城）

背後は、明日登る劔岳



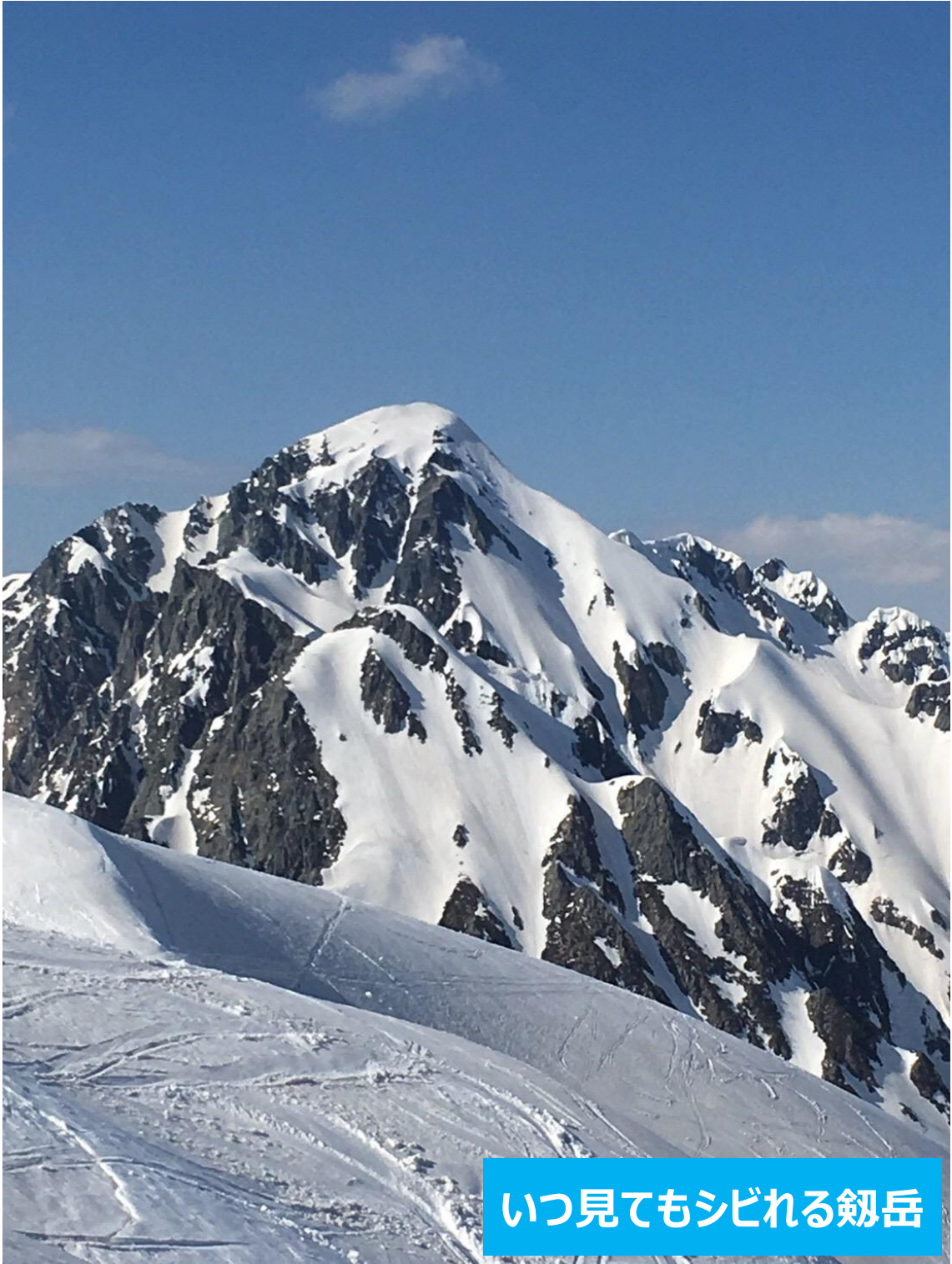
小屋から見えた夕陽

平蔵谷での休憩



テンション MAX
カニの横バイ





いつ見てもシビれる劔岳



無言で登る平蔵谷
早く日陰へ行かなくちゃ...



前刃
ロープにマムミジャー結びで